

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
理科・物理基礎	2	2	新編 物理基礎 (数研出版)	リード Light ノート 物理基礎
目標		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
日常生活や社会との関連を図りながら、物体の運動と様々なエネルギーについて理解するとともに、科学的に探究するため必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。		観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	物体の運動と様々なエネルギーに主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	
評価	<ul style="list-style-type: none"> 定期考查や小テスト、観察・実験の記録、計算問題の解答状況などの結果を用いて、「知識・技能」および「思考・判断・表現」を評価する。 授業における観察・実験への取組、データの処理・考察の姿勢、課題への取組状況から、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 			
学期	学習内容（単元）	到達目標		
1	1 運動の表し方 2 運動の法則	物体の運動を表す物理量を理解している。 実験や測定結果を基に運動の特徴を捉えている。 力のつり合いと運動の関係を理解している。 動の三法則を用いて物体の運動を説明できる。		
2	3 仕事と力学的エネルギー 4 熱とエネルギー 5 波の性質 6 音	仕事と力学的エネルギーの関係を理解している。 エネルギー保存の考え方を用いて現象を捉えている。 热と温度の関係を原子・分子の運動から理解している。 热の移動と仕事の変換の特徴を捉えている。 波の伝わり方の基本的な性質を理解している。 波の反射や干渉などの現象を適切に捉えている。 音の生じ方と波としての性質を理解している。 共鳴や振動数との関係を具体的に捉えている。		
3	7 物質と電気抵抗 8 磁場と交流 9 エネルギーの利用	導体の長さや断面積と電気抵抗の関係を理解している。 物質によって抵抗率が異なることを捉えている。 電流と磁場の働きの関係を理解している。 発電や送電の仕組みを基本的な原理から捉えている。 さまざまなエネルギー源の特徴を物理的観点から理解している。 科学技術が社会の仕組みを支えていることを捉えている。		